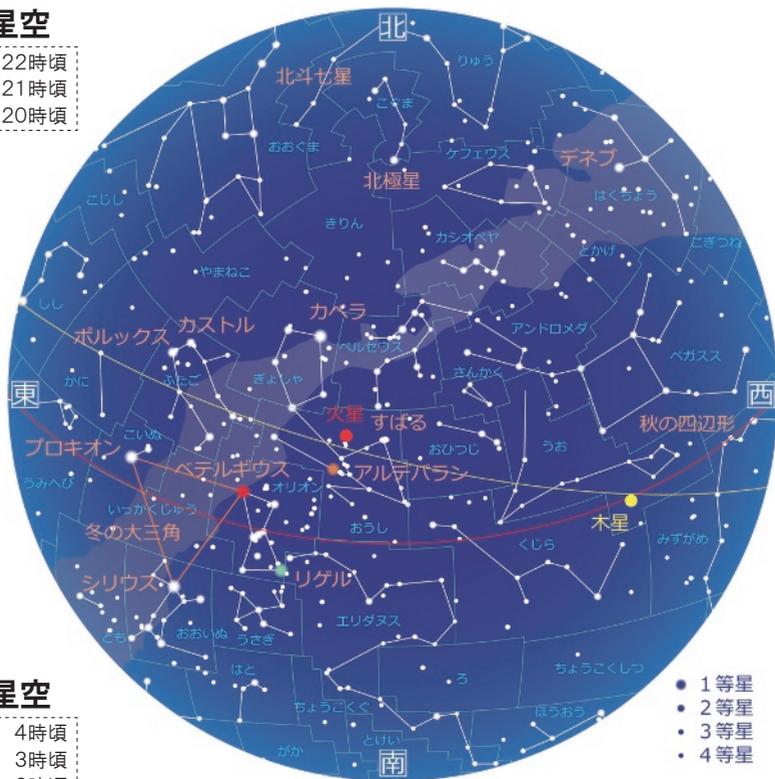


星空ガイド 12月16日～1月15日

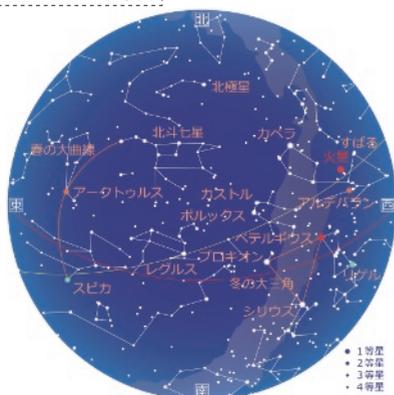
よいの星空

12月16日22時頃
1月 1日21時頃
15日20時頃



あけの星空

12月16日 4時頃
1月 1日 3時頃
15日 2時頃



【太陽と月の出入り(大阪)】

月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
12	16	金	6:57	16:48	--:--	12:11	22.2
	21	水	7:00	16:50	4:20	14:39	27.2
	26	月	7:03	16:53	9:48	20:02	2.7
1	1	日	7:04	16:57	12:55	1:37	8.7
	6	金	7:05	17:01	16:11	6:35	13.7
	11	水	7:05	17:06	20:57	9:48	18.7
	15	日	7:04	17:09	--:--	11:29	22.7

※惑星は2023年1月1日の位置です。

12月29日の天体ショー

12月22日に東方最大離角をむかえた水星が、29日に「よいの明星」金星とならびます。

日没後30分でも高さが8°を切っていて、だいぶ低い空なので、ちょっと見づらいかもしれませんが、よく晴れていたら、西南西の低空を探してみてください。図は17:30の様子です。金星と水星が角度にして1.4°まで近づいています。金星が-3.9等と目立っていますので、そのすぐ右上を見てください。ひっそりと水星があるはずですよ。

なお、この日、月と木星もならんでいて、南西の空には土星、東には火星も見えます。

曜日の星(月、火、水、木、金、土)が、勢ぞろいしています。



2022年12月29日17:30の西南西低空(ステラナビゲータ11で作成)

1月4日未明、しぶんぎ座流星群

三大流星群の先陣を切るしぶんぎ座流星群ですが、今年は明け方近くまで月があり、あまり条件としてはよくありません。

4日の月没が4:41ですから、4:30過ぎ～6:00ころをねらってみましょう。ちなみに、沈みつつある月は、この時、火星とならんでいます。

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
12	16	金	●下弦(18時)
	22	木	冬至(太陽黄経270°) 水星が東方最大離角
	23	金	●新月(19時) こぐま座流星群が極大のころ
	24	土	月が最近(358,270km)
	29	木	月と木星がならぶ 水星と金星が接近
	30	日	●上弦(10時)

月	日	曜	主な天文現象など
1	3	火	月と火星がならぶ
	4	水	しぶんぎ座流星群が極大(11時)
	5	木	地球が近日点通過
	6	金	小寒(太陽黄経285°)
	7	土	○満月(8時) / 水星が内合
	8	日	月が最遠(406,458km)
	9	月	小惑星パラスが衝
	15	日	●下弦(11時)

石坂 千春(科学館学芸員)